

矢巾新病院が2019年9月24日に開業しました。

今号では矢巾新病院1Fに新設された「医療・防災 情報スペース」の魅力をご紹介します。

Q.設置の目的は？

「インフォームドコンセントを支援する医学・健康情報の提供」に加え、災害医学講座を有する本学の特徴を活かした「防災・減災を念頭に、災害対応に関する情報の発信」を目的としています。

Q.どんな資料が置いてあるの？

資料の種類は、図書とパンフレットです。

疾病に関するパンフレットは約200種類おいてあります。図書は医療・健康情報、防災・減災に関する各分野の資料があります。内丸の医療情報コーナーと同様、背に2段ラベルを貼付してあり、利用者が分かりやすいように1段目に診療科名が記載されています。医療・健康情報に関する分野は、発刊から約5年の資料を目安に配架しています。

尚、小児科外来と隣接していることから、子供向けの絵本や図鑑といった本も揃えました。誰もが知っている定番の「白雪姫」や「赤ずきん」、泣く子も笑うと評判の「だるまさん」シリーズ等も並んでいます。スペース内にソファも配置していますので、ゆったりと寛いだ空間で閲覧できるようになっています。

Q.いつ利用できるの？

病院内のオープンスペースなので、いつでもご利用いただけます。

Q.資料の利用方法は？

パンフレットはご自由にお持ち帰り可能です。

図書は貸出を行っていませんので、スペース付近での閲覧をお願いします。

今後はHP等も整備し、様々なリンク先をご案内する予定です。

Q.管理はどうなっているの？

主に病院で管理し、図書館は選書や発注のサポートをします。

内丸図書館の医療情報コーナー共々、皆さまのご利用を心からお待ちしております！

図書館トリビア

新病院開院を記念して、11月2日（土）に図書館主催のイベント「第21回Library+」が開催されました。タイトルは「おはなし会：からだのはなし」です。当日は呼吸に関係した絵本の読み聞かせだけでなく、クイズや体を動かす時間もあり、小さな子供から大人まで、からだのことを楽しく学ぶことができました。

ヘルスリテラシー（健康情報を入手して理解・評価し、活用する力）は、5歳くらいからの教育が適切と言われています。今後もLibrary+で取り上げて行きますので、どうぞお楽しみに！

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@j.iwate-med.ac.jpまで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館